



マガレイ 日本海系群 令和7年度資源評価結果

生物学的特性

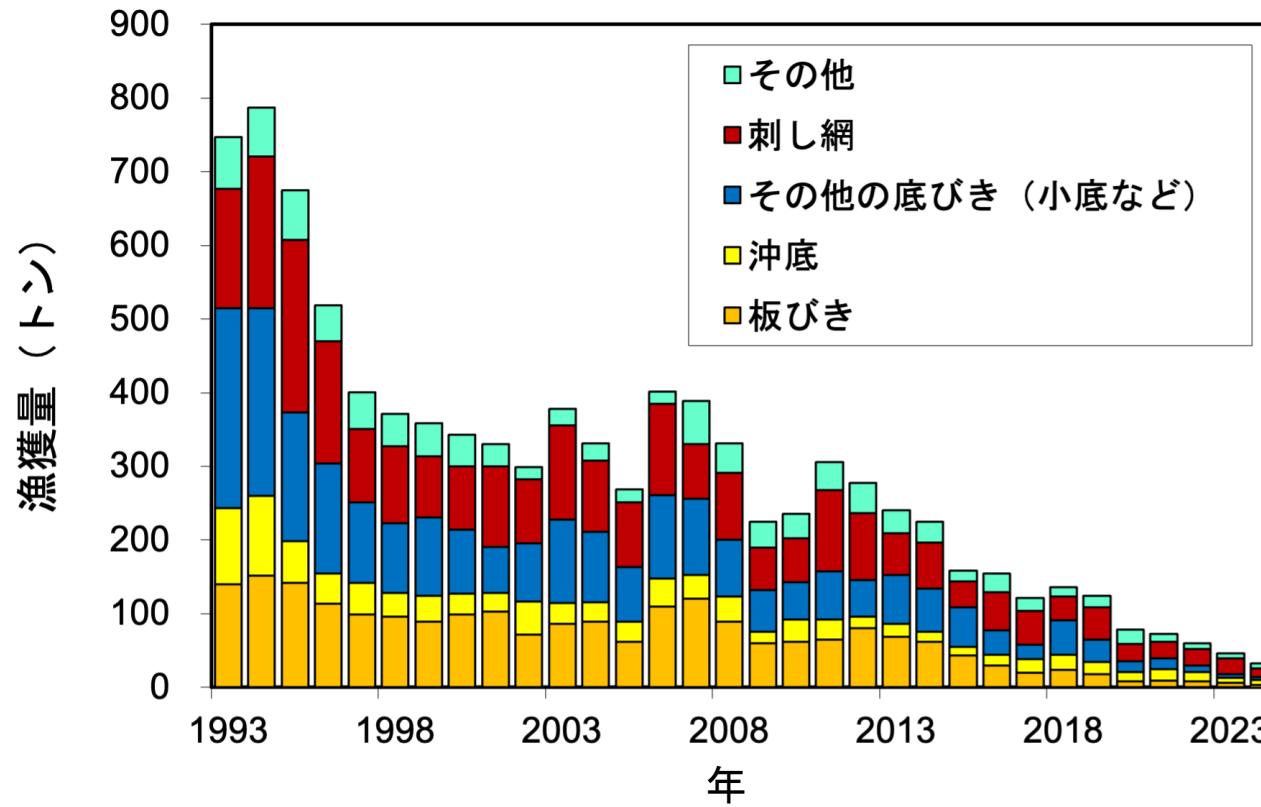


生物学的特性

- 寿命：雄7歳、雌10歳
- 成熟開始年齢：
雄2歳（割合不明）、3歳（100%）
雌3歳（70%）、4歳（100%）
- 産卵期・産卵場：青森県沖2～4月、
新潟県沿岸2～5月（盛期は3～4月）
- 食性：多毛類、二枚貝、小型甲殻類
- 捕食者：不明

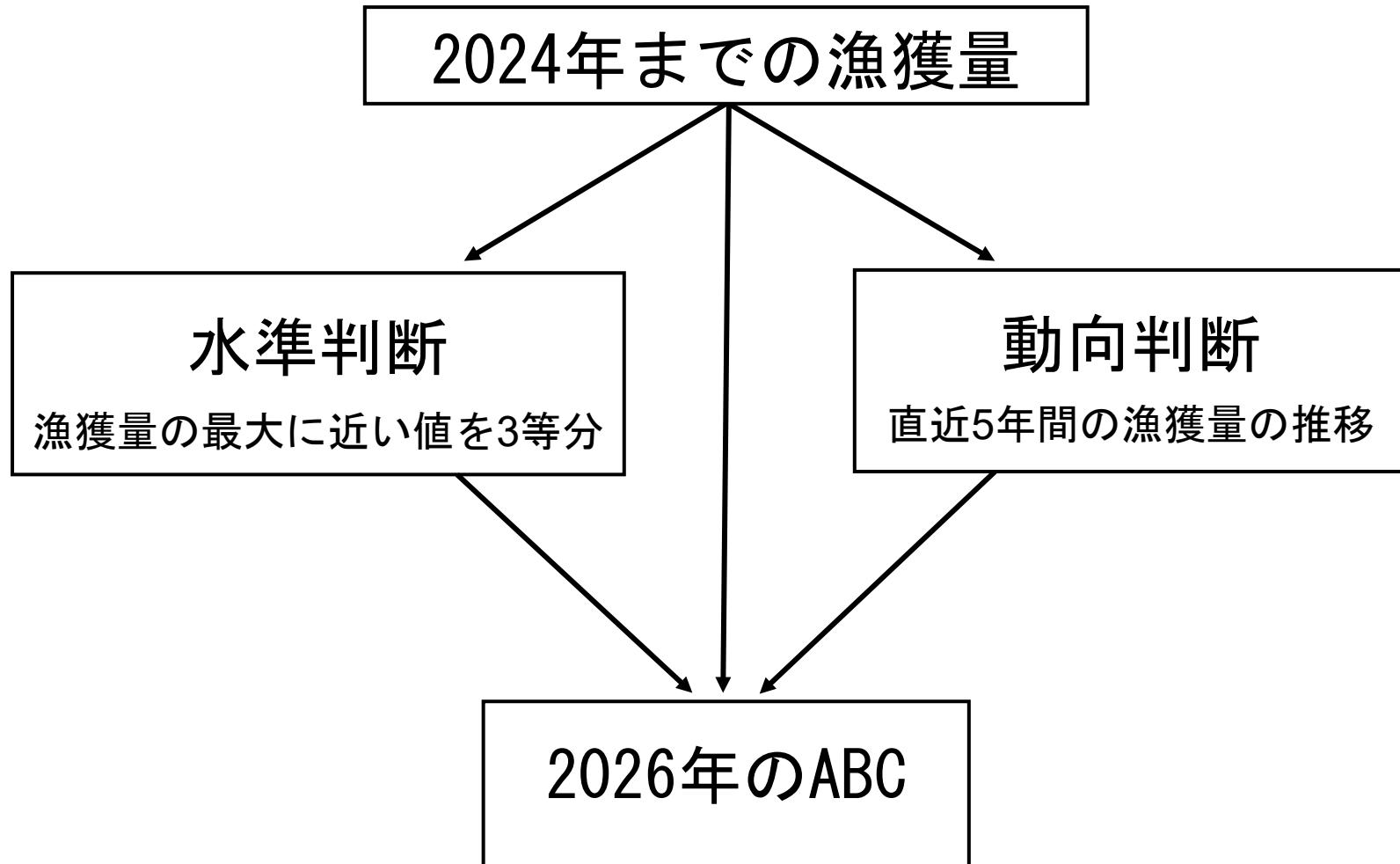
- ほぼ周年漁獲されるが、春季に漁獲量が多い

漁獲の動向



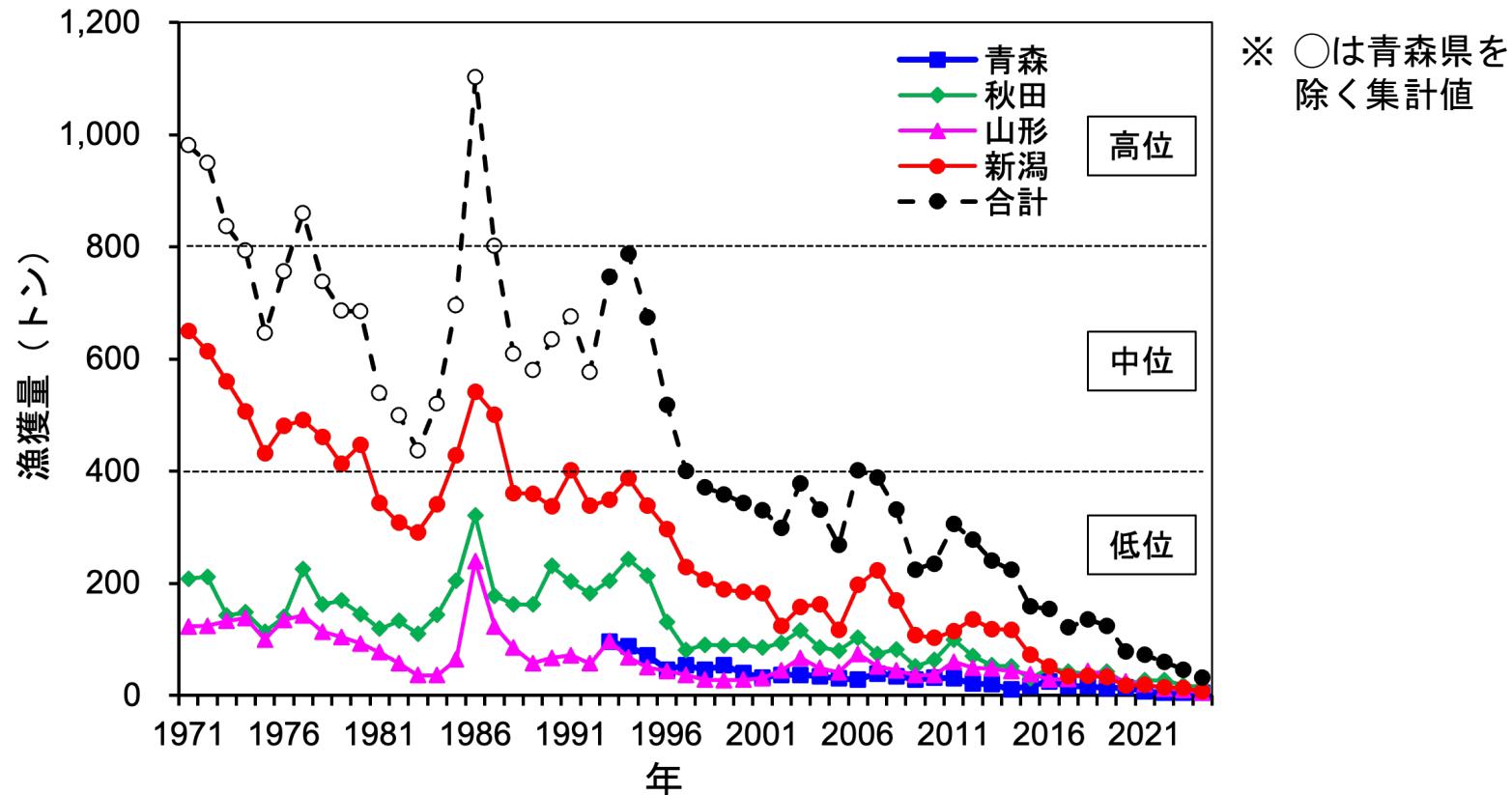
- 漁獲統計が揃った1993年以降では、漁獲量は1994年の787トンをピークに減少傾向、2024年には32トン
- 2024年の漁業種類別では、底びき網全体が44%、刺し網が36%
- 沿岸域で主に底びき網と刺し網によって漁獲

資源評価の流れ



※ ABCは漁業法改正前の考え方に基づく基本規則を適用した値

資源の動向



※水準区分 低位／中位：漁獲量400トン、中位／高位：漁獲量800トン
(1971～2024年の各県合計漁獲量の最大値に近い1,200トンを3等分)

- 資源水準：2024年の漁獲量32トンから「低位」
- 資源動向：直近5年間（2020～2024年）の漁獲量の推移から「減少」

資源評価のまとめ

- マガレイ日本海系群資源水準は低位、動向は減少
- 漁獲量に基づいて資源状態を判断した

2026年ABC

管理基準	Target /Limit	2026年ABC (トン)	漁獲割合 (%)	F値 (現状のF値からの 増減%)
0.7·Cave 3-yr·0.85	Target	22	—	—
	Limit	27	—	—

- 漁業法改正前の考え方に基づく基本規則2-2) により、 $ABC_{limit} = \delta_2 \cdot Ct \cdot \gamma_2$ で計算
- δ_2 : 0.7 (低位水準での推奨値)
- Ct : Cave 3-yr (直近3年間 (2022~2024年) の平均漁獲量)
- γ_2 : 0.85 (直近3年間の漁獲量の傾きと平均値から算出)